

北海道代協・札幌支部が創立70周年

約200名が参加し盛大に式典

一般社団法人北海道損害保険代理業協会札幌支部(以下北海道代協札幌支部)は9月16日、札幌市のライフォート札幌にて創立70周年の記念式典、講演会、祝賀会を開催しました。

社団法人日本損害保険代理業協会(日本代協)会長の岡部繁樹氏や一般社団法人北海道損害保険代理業協会会長佐々木雅之氏、一般社団法人日本損害保険協会北海道支部委員長代理鈴木良明氏からそれぞれ挨拶がありました。また、支部活動に貢献した3名の会員に対し功労賞が贈られました。

15時半からは日本代協会長の岡部氏より「環境変化を見通して代理店経営を考える」変化を見越し、今から手を打つ」と銘打った記念講演が行われ今後の代理店経営の課題、対応策等を会員や参加者へ向け発信・情報提供を行いました。

最後に18時から同会場にて祝賀会が行われ、支部会員や保険会社、関連の事業者に参加いただき、ともに70周年を盛大に祝いました。



参加者による集合写真
(前列左から3人目が白戸支部長)

■白戸俊成札幌支部長挨拶(一部抜粋)
一般社団法人北海道損害保険代理業協会札幌支部は、昭和21年に札幌損害保険代理業協会として誕生しました。以来、昭和54年には10代協を4単位代協に再編し、北海道中央損害保険代理業協会札幌支部となり、平成16年4月に道央・道北・道東代協と合併し北海道損害保険代理業協会となりました。平成20年に一般社団法人化され、今年で70周年を迎えることができました。今日に至る輝かしい歴史を培ってきた全ての支部会員の功績をさらに発展させ、後々に伝承できるよう努力していく所存です。

本日の70周年式典を機に、次の80年、90年、そして100年に向けて札幌支部がさらに飛躍して行くための新たなスタートとして邁進してまいります。